

作成日 2005年5月10日

改定日 2012年6月13日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: 気化性防錆材 ゼラストストレッチフィルム
会社名	: 大洋液化ガス株式会社
住所	: 東京都中央区日本橋堀留町 1-3-21
担当部門	: ゼラスト事業部
電話番号	: 03-3667-5201
FAX 番号	: 03-3667-5206
メールアドレス	: zerust.email@taiyolpg.com
緊急連絡先	: 同上
受付時間	: 月曜日～金曜日 9:00～17:20
推奨用途及び使用上の制限	: 金属の防錆

2. 危険有害性の要約

GHS分類	: GHS 分類に該当しない。
分類の名称	: 分類基準に該当しない。
危険有害性	: 火炎やスパークによる火花等に接触することにより、発火することがある。(消防法 指定可燃物)
環境影響	: 現在のところ知見なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名	: ポリエチレン、エチレン・酢酸ビニル共重合体
成分及び含有量	: ポリエチレン、エチレン・酢酸ビニル共重合体 90%以上 添加物 10%以下
化学式又は構造式	: 特定できない。
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	: 官報に掲載済み。
CAS No.	: 特定できない。(混合物のため)
国連分類及び国連番号	: 該当しない。
PRTR 法	: 該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合	: 該当しない。
皮膚に付着した場合	: 該当しない。
目に入った場合	: 該当しない。
飲み込んだ場合	: 該当しない。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水・粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂
消火を行う者の保護	: ゴム・皮製保護手袋、保護眼鏡(ゴーグル型)、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 該当しない。
環境に対する注意事項	: 該当しない。
回収・中和	: 該当しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項	: 使用直前まで開封しないこと。開封後、使用しない間は再度密封すること。
------	--------------------------------------

保管

保管条件	: 常温で保管し、高温、直射日光を避け保管すること。使用時まで包装状態を保つ。
------	---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 該当しない。
許容濃度	: ACGIH 勧告値に記載なし。

保護具

呼吸用保護具	: 該当しない。
手の保護具	: 該当しない。
目の保護具	: 該当しない。
皮膚及び身体の保護具	: 該当しない。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 薄黄色フィルム
臭い	: 特になし。
蒸気圧(mmHg)	: 測定データなし。
蒸気密度(空気 = 1)	: 測定データなし。
融点()	: 90-120
比重(15)	: 0.92
水溶解性	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 安定
自己反応性・爆発性	: なし

引火点()	: 260 付近(クリーブランド開放式)
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: 危険有害物質等は発生しないが、直射日光に長期間暴露されるとポリエチレンの劣化及び防錆効果の劣化が生じる。 ポリエチレンを分解する溶剤等を避ける。

11. 有害性情報(人についての症例、免疫学的情報を含む)

急性毒性	: 該当データなし。
慢性毒性	: 該当データなし。
皮膚刺激性	: 該当データなし。
眼に対する刺激性	: 該当データなし。
発がん性	: 該当データなし(全米毒物学プログラム・米労働安全衛生管理局)。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	: 現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 現在のところ知見なし。
残留性・分解性	: 現在のところ知見なし。
生態蓄積性	: 現在のところ知見なし。
魚毒性	: 現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

: 廃棄は焼却設備等で焼却処分を行う。
処分作業は可燃物の取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。
また、関連法規及び地方自治体の基準に従い適切な廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

陸上輸送	
消防法	: 危険物に該当しない。
海上輸送及び航空輸送	
船舶安全法	: 危険物に該当しない。
航空法	: 危険物に該当しない。
注意事項	: 特になし。

15. 適用法令

消防法	: 危険物に該当しない。 : 指定可燃物。
水質汚濁防止法	: 該当しない。

毒物劇物取締法 : 該当しない。

PRTR法 : 該当しない。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他情報

1. 製品安全データシートの作成指針 (社) 日本化学工業協会
2. ACGIH, Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices(1996)
3. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
4. NTP(全米毒物学プログラム)発がん性物質に関する事例報告
5. OSHA(米労働安全衛生管理局)発がん性物質に関する事例報告
6. PRTR調査対象物リスト(2009年度) 経済産業省
7. Northern Technologies International社製安全データシート
8. EXCOR社製安全データシート
9. JIS Z 7250 化学物質等安全データシート(MSDS)

ここに記載した情報は信頼できるとみなされる出所から編集されたものであり、弊社の知る限りでは執筆の時点で正確なものです。本製品安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者へ提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本MSDSの改訂版を受領した場合は、旧MSDSを廃棄下さるようお願いいたします。